

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第24期第2四半期
(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社パイオン

【英訳名】 P I O N C O . , L T D .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 橋 本 直 樹

【本店の所在の場所】 大阪市中央区本町一丁目4番8号

【電話番号】 06-7711-8100

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 松 浦 友 功

【最寄りの連絡場所】 大阪市中央区本町一丁目4番8号

【電話番号】 06-7711-8100

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 松 浦 友 功

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第23期 第2四半期 連結累計期間	第24期 第2四半期 連結累計期間	第23期
会計期間		自 平成24年 4月1日 至 平成24年 9月30日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 9月30日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高	(千円)	38,167,853	34,916,630	85,687,666
経常利益	(千円)	1,205,318	1,275,166	2,699,758
四半期(当期)純利益	(千円)	871,769	1,200,967	2,357,703
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	868,637	1,237,358	2,396,721
純資産額	(千円)	5,962,047	8,079,819	7,157,707
総資産額	(千円)	24,573,526	21,224,074	27,240,017
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	18.70	26.86	51.38
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	18.56	26.61	50.98
自己資本比率	(%)	22.7	37.3	24.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,695,403	3,124,359	2,095,870
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	619,983	356,013	812,543
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	362,779	3,009,280	2,365,464
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,061,294	1,737,609	1,266,516

回次		第23期 第2四半期 連結会計期間	第24期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	8.50	14.10

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）において営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導による経済対策や日銀の大規模金融緩和などの政策効果により、過度な円高の修正による輸出企業の収益改善や株高による消費者マインドの向上がみられました。

しかしながら、米国では金融緩和策縮小が当初市場予想よりも先延ばしとなり、また、中国をはじめとする新興国の景気減速感の強まりや、国内においては消費税率の引き上げによる景気の下押し懸念などにより依然先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である情報インフラの市場におきましては、9月後半に販売が開始されたiPhoneの新機種が主要通信事業者で取扱いされる状況となったことにより、高速データ通信サービスや料金体系を差別化要因としたモバイルナンバーポータビリティ(MNP)競争がより一層激化する状況となりました。

このような環境のもと、当社グループでは主力商材であるスマートフォンを中心とするモバイル通信端末の販売に注力し、取扱いの通信キャリア各社の施策に柔軟に対応しながら、販売強化を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度末に実施した事業譲渡の影響もあり、売上高は前年同四半期比3,251百万円減の34,916百万円となりました。また、営業利益は前年同四半期比30百万円増の1,232百万円、経常利益は前年同四半期比69百万円増の1,275百万円、四半期純利益は前年同四半期比329百万円増の1,200百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔情報インフラ事業〕

モバイル通信端末の販売におきましては、従来型携帯電話からスマートフォンへの買い替えキャンペーンならびに、のりかえキャンペーンによる買い替え需要への対応に注力してまいりました。また、店舗の統廃合などにより、店舗あたりの生産性の向上に引き続き取り組んでまいりました。

以上の結果、当事業の売上高は前年同四半期比860百万円増の33,299百万円、営業利益は前年同四半期比19百万円増の894百万円となりました。

〔法人ソリューション事業〕

法人ソリューション事業におきましては、ホームページの制作コンサルティング、モバイルサイト自動変換システムの中小事業者向け販売に引き続き注力いたしました。なお、当社グループは法人向け携帯電話販売事業等につきましては、前連結会計年度末に譲渡しており、ホームページ制作コンサルティング事業につきましては、平成25年10月1日付にて会社分割により株式会社ヴィクセスを新設しております。

以上の結果、当事業の売上高は前年同四半期比4,133百万円減の1,538百万円、営業利益は前年同四半期比12百万円減の377百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末に比べ6,015百万円減少し、21,224百万円となりました。総資産が減少した主な要因は、売掛金および商品及び製品の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6,938百万円減少し、13,144百万円となりました。負債が減少した主な要因は、買掛金、未払金の減少および借入金の返済によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ922百万円増加し、8,079百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動により3,124百万円増加し、投資活動により356百万円増加し、財務活動により3,009百万円減少しました。

現金及び現金同等物は(以下、「資金」という。)前連結会計年度末より471百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は1,737百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、3,124百万円(前年同四半期に得た資金は1,695百万円)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得た資金は、356百万円(前年同四半期に使用した資金は619百万円)となりました。これは主に、事業譲渡による収入および子会社株式の追加取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3,009百万円(前年同四半期に使用した資金は362百万円)となりました。これは主に、借入金の返済による支出によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,798,328
計	1,798,328

(注) 平成25年8月21日開催の取締役会決議により、平成25年10月1日付で株式分割に伴う定款変更が行われ、発行可能株式総数は178,034,472株増加し、179,832,800株となっております。

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	467,124	46,712,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	平成25年10月1日から単元株制度を採用しており、単元株式数は100株であります。
計	467,124	46,712,400		

(注) 1 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2 平成25年8月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、発行済株式総数は46,245,276株増加し、46,712,400株となっております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 (注1.2)	242	467,124	0	1,254	0	1,004

- (注) 1 新株予約権(ストックオプション)の権利行使による増加であります。
2 平成25年8月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割いたしました。これに伴い、発行済株式総数は46,245,276株増加し、46,712,400株となっております。

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年9月30日現在	
		所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋一丁目4番10号	319,022	68.29
株式会社パイオン	大阪府大阪市中央区本町一丁目4番8号	19,839	4.24
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	11,609	2.48
青島 孝充	静岡県浜松市西区	3,080	0.65
本橋 和文	埼玉県さいたま市中央区	2,798	0.59
射場 雅弘	大阪府箕面市	2,399	0.51
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町一丁目4	1,721	0.36
楽天証券株式会社	東京都品川区東品川四丁目12番3号	1,608	0.34
小池 克昌	埼玉県深谷市	1,460	0.31
林 広志	茨城県守谷市	1,395	0.29
計		364,931	78.12

- (注) 平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割いたしました。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 19,839		
完全議決権株式(その他)	普通株式 447,285	447,285	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	467,124		
総株主の議決権		447,285	

(注) 平成25年8月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年10月1日現在の完全議決権株式(その他)の株式数は44,728,500株、議決権の数は447,285個、発行済株式数は46,712,400株、総株主の議決権の数は447,285個となっております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社パイオン	大阪府中央区本町一丁目 4番8号	19,839		19,839	4.2
計		19,839		19,839	4.2

(注) 平成25年8月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割するとともに、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、平成25年10月1日現在の自己保有株式の株式数は1,983,900株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,266,516	1,737,609
売掛金	11,355,375	7,373,016
商品及び製品	3,875,700	3,038,856
販売用不動産	645,920	587,751
繰延税金資産	764,000	764,000
その他	3,030,475	1,739,412
貸倒引当金	23,400	17,887
流動資産合計	20,914,588	15,222,759
固定資産		
有形固定資産	1,500,009	1,460,896
無形固定資産		
のれん	2,285,904	2,105,236
ソフトウェア	34,212	38,266
その他	14,055	14,055
無形固定資産合計	2,334,172	2,157,558
投資その他の資産		
投資有価証券	477,504	537,589
差入保証金	1,730,620	1,599,600
長期滞留債権	880,741	872,621
その他	282,486	246,024
貸倒引当金	880,104	872,975
投資その他の資産合計	2,491,248	2,382,859
固定資産合計	6,325,429	6,001,314
資産合計	27,240,017	21,224,074

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,877,936	6,332,152
短期借入金	1,860,000	1,219,000
1年内返済予定の長期借入金	1,480,943	883,763
1年内償還予定の社債	24,100	14,100
未払金	3,918,047	2,373,400
未払法人税等	393,366	182,729
解約調整引当金	10,039	7,309
賞与引当金	211,198	152,311
その他	1,091,363	934,293
流動負債合計	17,866,995	12,099,059
固定負債		
長期借入金	1,517,896	609,205
社債	340,350	183,300
繰延税金負債	5,950	18,981
その他	351,118	233,708
固定負債合計	2,215,315	1,045,195
負債合計	20,082,310	13,144,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,842	1,254,826
資本剰余金	1,003,732	1,004,715
利益剰余金	4,793,470	5,958,674
自己株式	327,740	327,740
株主資本合計	6,723,305	7,890,477
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	1,802	29,468
その他の包括利益累計額合計	1,802	29,468
新株予約権	26,009	29,122
少数株主持分	406,589	130,750
純資産合計	7,157,707	8,079,819
負債純資産合計	27,240,017	21,224,074

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	38,167,853	34,916,630
売上原価	30,498,698	28,112,242
売上総利益	7,669,154	6,804,388
販売費及び一般管理費	6,467,318	5,572,214
営業利益	1,201,835	1,232,173
営業外収益		
受取利息	8,861	8,726
負ののれん償却額	6,481	15,854
貸倒引当金戻入額	55,456	12,107
持分法による投資利益	-	39,303
償却債権取立益	6,860	-
助成金収入	4,824	1,706
その他	20,787	19,857
営業外収益合計	103,273	97,555
営業外費用		
支払利息	70,637	33,135
支払手数料	7,610	10,107
持分法による投資損失	16,435	-
その他	5,106	11,319
営業外費用合計	99,789	54,562
経常利益	1,205,318	1,275,166
特別利益		
投資有価証券売却益	11,210	6,555
子会社株式売却益	-	138,990
固定資産売却益	312	72
その他	-	312
特別利益合計	11,523	145,929
特別損失		
固定資産除却損	60,750	34,690
投資有価証券評価損	29,238	10,110
特別損失合計	89,988	44,801
税金等調整前四半期純利益	1,126,853	1,376,295
法人税、住民税及び事業税	235,229	168,041
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	235,229	168,041
少数株主損益調整前四半期純利益	891,623	1,208,253
少数株主利益	19,854	7,285
四半期純利益	871,769	1,200,967

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	891,623	1,208,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,986	29,105
その他の包括利益合計	22,986	29,105
四半期包括利益	868,637	1,237,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	849,841	1,227,429
少数株主に係る四半期包括利益	18,795	9,928

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,126,853	1,376,295
減価償却費	250,517	212,313
のれん償却額	186,833	184,562
負ののれん償却額	6,481	15,854
貸倒引当金の増減額(は減少)	67,150	12,204
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	39,695
賞与引当金の増減額(は減少)	9,716	54,671
解約調整引当金の増減額(は減少)	232	2,729
受取利息及び受取配当金	10,064	8,726
支払利息	70,637	33,135
持分法による投資損益(は益)	16,435	39,303
固定資産売却損益(は益)	312	72
投資有価証券売却損益(は益)	11,210	6,555
子会社株式売却損益(は益)	-	138,990
固定資産除却損	60,750	34,690
投資有価証券評価損益(は益)	29,238	10,110
売上債権の増減額(は増加)	2,475,575	4,298,242
たな卸資産の増減額(は増加)	283,793	889,263
仕入債務の増減額(は減少)	1,830,895	2,888,243
未払金の増減額(は減少)	37,758	1,092,081
その他	715,081	737,030
小計	1,831,629	3,476,517
利息及び配当金の受取額	10,016	8,659
利息の支払額	70,965	33,116
法人税等の支払額	75,276	327,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,695,403	3,124,359
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	553,855	262,909
有形及び無形固定資産の売却による収入	242,000	1,281
投資有価証券の取得による支出	-	1,700
投資有価証券の売却による収入	51,553	138,682
事業譲渡による収入	-	669,479
差入保証金の差入による支出	54,829	11,031
差入保証金の回収による収入	150,498	53,834
貸付けによる支出	10,028	-
貸付金の回収による収入	131,265	11,531
子会社株式の取得による支出	244,800	268,709
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	414,088	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	25,544
その他	82,300	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	619,983	356,013

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	900,000	641,000
長期借入れによる収入	700,000	-
長期借入金の返済による支出	2,827,268	1,505,870
社債の償還による支出	232,050	167,050
セールアンド割賦バック取引による収入	1,125,341	-
セールアンド割賦バック取引による支出	-	655,365
配当金の支払額	27,667	35,384
その他	1,134	4,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	362,779	3,009,280
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	712,640	471,092
現金及び現金同等物の期首残高	2,348,653	1,266,516
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,061,294	1,737,609

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

財務制限条項

1. 長期借入金（1年内返済予定額を含む）のうち135,800千円（前連結会計年度末174,600千円）には、下記のいずれかに抵触した場合、該当する融資契約上の債務について期限の利益を喪失する財務制限条項が付されております。

- (1)各連結会計年度末の連結貸借対照表における純資産の部の金額について、前連結会計年度末比80%以上を維持すること。
- (2)各連結会計年度末の連結損益計算書における営業損益について、黒字を維持すること。
- (3)各連結会計年度末の連結有利子負債合計額（劣後特約に基づく借入債務を除く）について、E B I T D Aの6倍に相当する金額以下に維持すること。

2. 長期借入金（1年内返済予定額を含む）のうち871,111千円（前連結会計年度末1,088,888千円）には、下記のいずれかに抵触した場合、該当する融資契約上の債務について期限の利益を喪失する財務制限条項が付されております。

- (1)各連結会計年度末の連結貸借対照表における純資産の部の金額について、平成22年3月決算期末日における連結貸借対照表上の純資産の部の金額の70%以上を維持すること。
- (2)各連結会計年度末の連結損益計算書における営業損益が2期連続して損失とならないようにすること。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
従業員給与	2,571,491 千円	2,282,855 千円
アルバイト給与	300,408 "	193,349 "
支払手数料	253,967 "	281,408 "
のれん償却額	186,833 "	184,562 "
地代家賃	781,982 "	690,067 "
賞与引当金繰入額	175,129 "	152,311 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
現金及び預金勘定	3,061,294 千円	1,737,609千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	"	"
現金及び現金同等物	3,061,294 千円	1,737,609千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 6 月28日 定時株主総会	普通株式	27,962	60	平成24年 3 月31日	平成24年 6 月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第 2 四半期連結累計期間(自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1 株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年 6 月27日 定時株主総会	普通株式	35,763	80	平成25年 3 月31日	平成25年 6 月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	情報インフラ事 業	法人ソリュー ション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	32,438,789	5,671,236	57,826	-	38,167,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	32,438,789	5,671,236	57,826	-	38,167,853
セグメント利益	874,366	390,624	3,538	66,693	1,201,835

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. セグメント利益の調整額 66,693千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項がないため記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	情報インフラ事 業	法人ソリュー ション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	33,299,604	1,538,028	78,998	-	34,916,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	
計	33,299,604	1,538,028	78,998	-	34,916,630
セグメント利益又は損失()	894,201	377,898	179	39,746	1,232,173

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等であります。

2. セグメント利益又は損失()の調整額 39,746千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項がないため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円70銭	26円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	871,769	1,200,967
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	871,769	1,200,967
普通株式の期中平均株式数(株)	46,616,008	44,709,721
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円56銭	26円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	357,154	428,788
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

株式分割及び単元株制度の採用について

当社は、平成25年8月21日開催の取締役会決議に基づき、平成25年10月1日付で株式分割及び単元株制度の導入を実施いたしました。

(1) 株式分割、単元株制度の採用の目的

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、株式の分割を実施するとともに、100株を1単元とする単元株制度を採用いたしました。なお、この株式分割及び単元株制度の採用に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

(2) 株式分割の概要

分割の方法

平成25年9月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式を1株につき100株の割合をもって分割いたしました。

分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	467,124株
今回の分割により増加した株式数	46,245,276株
株式分割後の発行済株式総数	46,712,400株
株式分割後の発行可能株式総数	179,832,800株

分割の日程

基準日公開日	平成25年9月13日(金)
基準日	平成25年9月30日(月)
効力発生日	平成25年10月1日(火)

(3) 単元株制度の概要

新設した単元株式の数

単元株制度を採用し、単元株式数を100株といたしました。

新設の日程

効力発生日	平成25年10月1日(火)
-------	---------------

(4) その他

当該株式分割による影響については、(1株当たり情報)に記載しております。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社パイオン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 塚 原 克 哲 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 村 太 郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社パイオンの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社パイオン及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。